

2023 年度 事業報告書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 エヌ・ピー・オー福祉用具ネット

1. 事業の成果

今年度も取り組み事業の殆どは**福岡県ノーリフティングケア普及促進事業**でした。2020 年からスタートして 4 年目の取り組みでしたが、取組施設数も年々増えて、今年度はモデル施設 35 施設と新規の取組施設 15 施設の合計 50 施設の取組をサポートする事になりました。

この県事業は、マネジメントや技術研修をするだけの研修事業ではありません。取り組み施設にしっかりと定着をさせること、さらに、4つの地域連絡協議会の活動を通して各々の地域にノーリフティングケアを普及させることを目指しています。そのために、取り組み 2 年目の 2021 年から新たに県内 4 つの地域に地域連絡協議会を立ち上げました。そして、地域ごとの活動をサポートしてきました。地域に密着したネットワークを作り、その輪を広げていくことを目指しました。さらに、2023 年からは活動の先導役として地域のリーダー施設を決めて、事務局は地域の主体的活動を後方支援するという体制に変化させました。

その結果、4つの地域は、コロナ禍の中、活動を少しずつ広げてオンラインから時々の状況から対面も併用し、施設見学やフェスやフォーラムなど取り組みを活発化させることができました。そんな地域ごとの主体的な動きを支援してくれたのは、各地域の老人福祉施設協議会（老施協）でした。イベントに関わる費用を助成して下さったり、参加者募集への協力を積極的にして下さり、連携した開催が出来ました。

また、本事業の特徴は一方通行の研修ではありません。1度の研修で、事前・事後の提出物の添削指導や相談などを頻回に実施します。新規の施設を対象としたマネジメント研修は新規 15 施設と 2 年目の学び直しを希望する施設も受け入れ、合計 17 施設とのやり取り、さらに強化研修では 2 年目の 3 期生の 13 施設と希望施設 2 施設の合計 15 施設が対象でした。これら 32 施設それぞれの計画立案、毎回の取り組みの実施報告類の講師と施設のパイプ役を果たさなければならず、1回の研修の後の 1 週間程度はその調整役を果たさなければなりません。

そんな深いかかわりの中で見えてくる介護施設の現状は、本来は目先の仕事に追われ、新たな取り組みどころではないといった深刻な声も聞こえてきていました。それらのやり取りの中で支援をするのが事務局の大きな役割でした。

さらに、腰痛等による介護の離職者を防ぎ、少しでも人材確保の手助けとなればと目標を掲げての本事業です。年に 2 回、4 年間の継続的な調査も継続しています。抱え上げない介護を実践すれば腰痛は減少するという事も明らかに見えてきていますが、その取り組み方には施設により事情があり、特に取り組み姿勢や福祉用具環境が大きく影響すること

も分かりました。

つまり、福祉用具を積極的に活用している施設は当然、抱え上げ介護をしておらず、その結果、腰痛者の割合が減るという事実です。

とはいえ、福祉用具の整備には相応の費用がかかります。施設の方針とともに計画的に推進をしなければならないと思っています。

本NPO設立当初から目指している福祉用具の普及・活動の視点は、まさに本事業そのものであることを実感しながら取り組んでいます。

しかし、これまでの個人を対象とした研修事業とは異なり、施設への福祉用具を活用した介護技術の定着を目指すものであり、毎年、その目標に向けて奮闘している日々が続いています。

また、本NPOのもう一つの主たる事業である『ものづくり支援』も、これまでと変わらず開発支援は継続して実施してきました。

県内企業様には、福岡県登録コーディネーターとして開発支援を継続実施しており、さらに会員企業様の支援や企業顧問としても活動を継続しています。

2. 各事業別の取り組みの概要

(1)福祉用具および住環境に関する相談・調査・開発・供給などの活用と整備の推進に関する事業

① ものづくり支援センター部門の成果

本NPOは、「福岡県登録コーディネーター」として、県と連携しながら、医療・福祉機器市場に参入を目指す県内企業に対して伴走型開発支援を続けています。また、県外の会員企業に対する開発支援も行っています。今年度は52件の開発相談に対応いたしました。

さらに、現在2社と顧問契約を交わし毎月アドバイスをを行っています。

福祉機器のニーズ発掘・提案も重要な活動です。ものづくり支援事業では、ノーリフティングケア普及促進事業と連携し、ノーリフティングケア技術にふさわしい福祉機器の有り様を求めて現行機器の改良点や新規福祉機器の探索を進めています。この結果「ニーズ」は、「筑豊地域医療・福祉関連支援委員会」を通じて公表され、県内企業に提案されています。

②福祉用具活用に関する相談は、随時対応しています。特に、ノーリフティングケアに伴う事例に対する福祉用具選定や住環境の中での福祉用具の使い方や選び方に関する相談が増えています。随時、施設とのやり取りは、ノーリフティングケア普及促進事業の中で全施設とのやり取りが容易に出来る「スラック」がとても有効な連絡手段となっています。

(2)生活の質の向上に向けた相談・調査・啓発・研修などの事業

①福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

合計 59 回の研修と地域連絡協議会の活動を企画し開催いたしました。

- i) 今年度の新規採択施設(4期生)15施設の育成。さらに、2年目のメンター施設13施設を中心にマネジメント研修や技術研修を行いました。

4期生は、モデル施設とは異なり、新規取り組み施設としてこれまでの教育計画とは異なるプログラムで実施しました。マネジメント研修は概論研修を入れて4日間と個別によるフォローアップ研修2日間。基本技術研修は2回という内容で実施しました。

さらに、マネジメント研修の講師育成も並行して進め、各地域に1名ずつ合計4名の講師が誕生しました。今後はさらに経験を積重ねて、拡大する研修事業に対応できる体制作りを進めます。

- ii) 地域連絡協議会は1期生と2期生が中心なり、各地域にリーダー施設を決めて主体的な活動計画に取り組みました。さらに、先輩施設として新規の取り組み施設をサポートすることは勿論ですが、今年度は、この地域連絡協議会が主催者となり、3つの地域でノーリフティングケアフェスやフォーラムという大きなイベントを企画し、各地域にノーリフティングケアを広めることにも挑戦して下さいました。

その地域連絡協議会の活動に賛同してくれた老人福祉施設協議会(老施協)様のサポートもあり、大きな力添えとなりました。その際に、本NPOの仲間も技術の体験指導者としてボランティアで協力をして下さいました。その成果は、福岡県ノーリフティングケア普及促進事業のホームページにも公開されています。

- iii) 市町村からのノーリフティングケア取り組みのサポート依頼を、柳川・みやま地区介護サービス事業者連絡会から受け、昨年を引き続いてケアマネ対象及び施設職員を対象とした福祉用具体験会、福祉用具紹介のイベントを開催し、アンケート等の意見でも好評を得ました。

- iv) さらに、本NPOの20周年記念後半の部では、本事業をサポートすることを狙いとして、試験的に技術指導者の育成を実施しました。対象は、1期生と2期生の中から承諾を得た施設と、その施設のメンバー10名を対象としました。

10名は基本技術研修2日間と技術力強化研修を5日間受講した方として、今年度の3期生と4期生の技術研修を見学することからスタートしました。その後、さらに2日間の復習期間を設けて、その理解度について2日間にわたり試験を実施しました。その結果、10名が合格をし、これから自施設での技術教育指導者として教育計画に沿って指導を進めて、施設への技術の定着について評価したいと考えています。

(3)ビューティタッチセラピスト育成事業

日本介護美容セラピスト協会主催のビューティタッチセラピスト育成に係る介護の基礎研修は、今年度も全国8か所で合計16回開催され253名が認定されました。

累計2,645人の認定セラピストが誕生し、全国で活躍しています。

(4)安全な生活に向けたバリアフリー化に関する相談・調査・啓発・研修などの福祉のまちづくりに関する事業

特に活動なし

(5)情報誌及び出版物の発行など会員や市民との文化交流事業

情報誌【ささえ】の発行4回も、今年度も計画通りに実施いたしました。

また、福岡県ノーリフティングケア普及促進事業の活動は随時、SNSや情報誌等に紹介しました。

詳細は以下の通りです。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
1)福祉用具および住環境に関する相談・調査・開発・供給などの活用と整備の推進に関する事業	■開発に関する相談 県内・県外企業(ものづくり支援センター事業)	随時 52件	県内企業 又は事務局(Web会議含む)	常勤1名 他3名	企業開発者 若干名	1,660,232
	■開発協力品の販路拡大支援	随時 3社	全国	常勤1名 他3名	開発者など企業関係者若干名 及び介護現場の専門職やユーザー多数	
(2)生活の質の向上に向けた相談・調査・啓発・研修などの事業	■技術指導者育成のための研修	11月17日 12月15日 1月19日 2月16日	大野城市	各回7名	10の施設職員など 多数	11,904,392
	■技術指導体験指導	5月10日	筑後フェス	14名	介護施設職員 介護福祉科教員	
	■みやま市研修企画	11月13日	みやま市	64名	地域の介護施設職員・管理者・ケアマネ	

	■実践事例紹介 研修会	1月30日 14時～ 15時15分	オンライ ン研修	33施設申込 1施設から 複数人が 受講	施設職員など多数	
	■福岡県委託 事業 ノーリフティ ングケア普及 促進のための 研修事業受託	4月～ 3月末 59回の研 修等を開 催	福岡県内 オンライ ンと対面 の方法で 実施	常勤1名 含む10名	50のモデル施設 要介護者多数	
	■ビューティ タッチセラ ピスト育成 事業の支援 日本介護美容 セラピスト 協会との 連携事業 介護技術の 指導	随時 16回開催	全国 8か所	常勤1名 他10名	セラピスト253名 高齢者多数 医療介護福祉従事 者多数	
(3)安全な 生活に向け たバリアフ リー化に関 する相談・ 調査・啓 発・研修な どの福祉の まちづくりに 関する事業	■バリアフリ ーに関する	相談なし	筑豊 地域	常勤1名	介護・医療・ 福祉専門職など	0
(4)情報誌 および出版 物の発行な ど会員や市 民との文 化交流事業	■情報誌 【ささえ】の 定期的な発行 ■ホームページ	年に4回 83号 84号 85号 86号 計画通り に発行 ・随時報告	事務局	常勤1名 含む2名	介護・医療・ 福祉専門職や 不特定多数 毎回300部～ 400部印刷	370,804

	やF B等による 情報発信	更新				
--	------------------	----	--	--	--	--

(2) 収益事業 該当なし